

関係各位

一般社団法人 日本ベンチャーキャピタル協会
会長 安達 俊久

「JVCA ベンチャーキャピタリスト育成事業」 研修講座開講に関するご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当会業務につきましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当協会では、ベンチャーキャピタリストの育成を目的とする「JVCA ベンチャーキャピタリスト育成事業」研修講座を本年も開講する運びとなりましたのでご案内申し上げます。

この研修講座は、平成 14 年度に経済産業省より委託を受け、株式会社富士総合研究所(現 みずほ情報総研株式会社)と共同で実施しました「ベンチャーキャピタリスト人材能力開発プログラム開発・実証事業」の成果を元に毎年実施してまいりました。

今年度は、従来実施してまいりました「ベンチャーキャピタリスト検定」を「ベーシック研修」として衣替えし、かつ業界の最新動向を反映したプログラムを準備した上で、第一線で活躍する豪華な講師陣をお迎えしております。

ベンチャーキャピタリストに求められる知識・スキルの習得・向上を目的として、投資の入口から出口まで、実践的かつ体系的に学べる貴重な機会ですので、是非この機会をご活用頂きたくご案内申し上げる次第です。

敬具

研修概要

	ベーシック(半日)研修	本研修(ベンチャーキャピタリスト研修)
日程	6月2日(月) 13:00-17:30	6月19日(木) ~ 6月22日(日) 4日間
会場	みずほ情報総研株式会社 東京都千代田区神田錦町 3-1 安田シーケンスタワー	みずほ情報総研株式会社 東京都千代田区神田錦町 3-1 安田シーケンスタワー
対象	・投資やベンチャーキャピタルに関する基礎を 学びたい方	・投資業務に携わっている方、これから携わる方 ・ベンチャーキャピタリストを目指す方 ・ベンチャー支援業務等に携わっている方 ・企業の新事業担当者 等
内容	投資に初めて携わる方のための入門編です。詳細次 頁以降ご参照ください。	投資の入口から EXIT までプロセスごとにプログラムを編 成しております。詳細次頁以降ご参照ください。
受講料	JVCA 会員 2万8千円(税、教材代込) 非会員 3万5千円(税、教材代込) ※ベーシック、本研修を共に受講される場合、ベーシック研修 受講料は無料	JVCA 会員 20万円(税、教材代込) 非会員 25万円(税、教材代込) ※ベーシック、本研修を共に受講される場合、ベーシック研修 受講料は無料
申込 方法	末尾添付の申込用紙にご記入の上、JVCA 事務局 までお申込みください。 申込締切日：5月24日(金)	末尾添付の申込用紙にご記入の上、JVCA 事務局 までお申込みください。 申込締切日：5月24日(金)

【お問い合わせ先】 一般社団法人 日本ベンチャーキャピタル協会 事務局
〒169-0074 東京都新宿区北新宿 2-21-1
TEL:03-5937-0300 FAX:03-5937-0301 E-mail: jimukyoku@jvca.jp

研修講座の概要

1. 研修講座の主要対象領域

この度の研修講座は、VC の投資業務担当者としてのスキル向上を主眼に置いています。したがって、ベンチャーキャピタリストに求められるスキルは多岐にわたりますが、主にインベストメントプロセスに関連するスキルの向上に重点を置きます。

2. 講座内容 及び 日程

今年度は、事前にベーシック研修プログラムを設定し、本研修は、全7回の授業で構成されております。各授業の内容は以下の通りです。

		テ ー マ	内 容
—	6月2日(月) 13:00~18:00	ベーシック研修	初めて投資に携わる方、投資の経験のない方を対象に、基礎知識をわかりやすく解説する入門編。
—	6月19日(木) 9:45~	はじめに	日本ベンチャーキャピタル協会安達会長から受講生の方々へのメッセージ
第1回	6月19日(木) 10:00~11:30	ゲストスピーカーによる講演	最近IPOを果たした起業家をゲストに迎え、IPOまでの道のり、およびそのプロセスで VC が果たした役割などを伺いながら、投資を受ける企業の観点からVCに期待すること、課題、そして課題解決のためにどのようなことが必要か、などVCの意義について理解を深める。
第2回	6月19日(木) 13:00~15:30	投資戦略/デューデリ ジェンス概論	投資戦略に基づいたディールソーシングについて学ぶ。またVC以外のベンチャー企業支援機関(公的支援機関等)のデューデリジェンスについても学習する。
	15:45~17:15	新興企業における会計不正の事例分析	特に会計士(監査法人)として財務デューデリジェンスを扱う立場から、財務面、会計面における不正事例、問題となった事例についてご紹介頂き、投資にあたって企業を評価する、あるいは投資後のモニタリングにおいて留意すべき点を学習する。
第3回	6月20日(金) 9:00~12:10	デューデリジェンス実践編 ・テクノロジー系VB ・サービス系VB	投資対象先のビジネスプランを評価し、投資の検討を進めるか否かについて検討する。ビジネスプランの評価に際しての目の付け所やデューデリジェンスの方法を学習する。
第4回	13:30~17:00	ディールストラクチャー	VC の投資契約についての理解を深める。種類株式の活用等を通して投資契約書の主要項目について学習し、各要項が VC 投資のリスクを軽減する上で、どのような機能を果たし得るのかについて理解する。
第5回	6月21日(土) 9:00~12:30	ベンチャー企業の価値評価手法	企業価値評価の基礎的な手法をおさらいし、ベンチャー企業の評価に関するポイントを学習する。後半では具体的事例に基づいた投資時・Exit時のバリュエーション手法について学習する。
第6回	13:30~17:45	付加価値サービス ・テクノロジー系 ・サービス系	VC の付加価値活動について理解する。資金提供だけに留まらないVCの付加価値サービス(取締役会を通じたモニタリング、戦略立案の支援、追加資金の調達、人材の補強など)について理解を深める。
第7回	6月22日(日) 9:00~11:00	投資回収(M&A)	投資の最終局面である EXIT について、特にトレードセールスやM&Aによる事例を見ながら、VCとしての考え方や交渉プロセスなどについて学習する。
	11:15~13:15	投資回収(IPO)	IPOによる EXIT について、事例を見ながらVCとしての考え方やプロセスの主要な点を学習する。様々なステークホルダーの利益を調整しながら、投資利益を確保することの難しさを認識する。

3. 講義形式

今回の研修講座は、座学を主体とした一方通行的な学習は回避します。班割りのグループ討議を中心に、課題について講師や他の受講者と議論を行い、様々な考え方を理解することが重要になります。また、講義時間は講師や他の受講者と議論をする場にあてられるため、基礎的な知識に関するレクチャーは原則行いません。従って、これらの点については、「事前学習のポイント」(後述)をご参照頂き、事前に配布する教材や MBA 関連テキスト等で、あらかじめ独習して頂くよう心がけてください。

なお、今年度から、本研修とは別に「ベーシック研修」プログラムを用意いたしました。初めて投資に携わる方を対象に、本研修実施前に、必要と思われる基礎知識をわかりやすく解説するプログラムです。ごく基礎的なところから習得したい、と言う方は是非ご参加ください。

4. 受講対象者

本研修は、「ベンチャーキャピタリスト経験の無い方から、2～3年程度投資業務の実務を経験したベンチャーキャピタリストまで」を主対象としています。

ベーシック研修は、ベンチャーキャピタリスト入門編として学生の方も是非受講下さい。

5. 事前学習のポイント

研修受講にあたっては、事前に配布する教材や関連テキスト等で独習し、「企業経営等の基本的な知識を有し、関連する基礎的スキルを身に付けていること」が前提になります。事前学習のポイントについては、以下をご参照下さい。(※知識に不安のある方はベーシック研修の受講をお奨めいたします)

【事前学習のポイント】

①ファイナンス・アカウンティング

- ROE、ROA、PBR などの基本的な財務分析についての知識及び理解
- FCF など、企業価値評価の前提となる指標についての知識及び理解
- DCF、マルチプルなどの一般的な企業価値評価手法についての知識及び理解

②マネジメント

- 競争戦略、事業戦略、SWOT 分析、3C 分析、マーケティング戦略など、企業のマネジメントに関する一般的な手法についての知識

③法務

- 議決権、強制転換、希薄化防止、ストックオプションなど、タームシートに記される基本的な条項についての知識

6. 申込み方法

募集要項末尾添付の申込み用紙にて、FAXかメールでJVCA事務局までお送り下さい。

【募集定員】

本研修講座の募集定員は、40名とさせて頂いております。募集定員に達した場合、申込締切日前に応募を締め切る場合もございますので、予めご了承下さい。

【注意事項】

受講申込者が10名に満たない場合は、講座開設が困難であるため、実施を見送らせて頂く可能性がありますので、予めご了承下さい。

7. 受講料

本研修講座：JVCA会員 200,000円、非会員 250,000円

ベーシック研修講座：JVCA会員 28,000円、非会員 35,000円

なお、本研修講座を受講される方は、ベーシック研修講座は無料で受講いただけます。

【受講料のお支払方法】

申込用紙を受領後、請求書を発送させていただきますので、所定の口座にお振り込み下さい。

※お振込いただきました受講料については、返金致しかねますので予めご了承下さい。

8. 講師のプロフィール

本研修講座の講師は、VC業界の中でも一線でご活躍されている有志の方々をお願いしております。各回の講師のプロフィールについては、下表をご参照下さい。

	テ ー マ	講 師	プロフィール
ベーシック 研修 6月2日 (月) 13:00 ～ 17:30	ベーシック研修	秦 信行 (國學院大學 経済学部教授)	<ul style="list-style-type: none">➤ 1974-1994 株式会社野村総合研究所勤務 (職种的には証券アナリスト、財務コンサルタントとして活動すると同時に企業調査室長、中堅企業調査室長、企業財務調査室長などを歴任)➤ 1991-1994 株式会社ジャフコ出向 (海外審査部長としてデューディリジェンス担当)➤ 1994 國學院大學経済学部助教授➤ 1995-現在 國學院大學経済学部教授➤ 1999-2001 スタンフォード大学 Visiting Scholar at Institute of International Studies (ベンチャーキャピタルをテーマに研究)➤ 2001-現在 財団法人川崎市産業振興財団新産業政策研究所研究員➤ 2004-現在 法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科兼任講師➤ 2007-現在 学校法人國學院大學理事

<p>第1回 6月19日 (木) 9:40 ～ 10:00</p>	<p>はじめに</p>	<p>安達 俊久 (JVCA会長、 伊藤忠テクノロジーベンチャーズ (株) 代表取締役社長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 東京工業大学電気工学科卒、伊藤忠商事に入社。 ➤ 情報産業部門において、米国先端ITの商権獲得と提携関係構築に従事し、米国シリコンバレーとの幅広い人脈を構築。 ➤ 2002年5月より伊藤忠テクノロジーベンチャーズ株式会社代表取締役社長。 ➤ 2008年7月日本ベンチャーキャピタル協会理事、2011年7月同協会会長就任。
<p>第1回 6月19日 (木) 10:00 ～ 11:30</p>	<p>ゲストスピーカーによる講演</p>	<p>飯尾 慶介 (株)みんなのウェディング 代表取締役社長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 1999年株式会社トーハンに入社。子会社直営店舗の店長、スーパーバイザー職などを経て、2006年株式会社ディー・エヌ・エー入社。ECアドバイザー職を経て、社長室にてみんなのウェディングの立ち上げに携わる。その後、mobage オープンプラットフォームの立ち上げを経験後、2010年10月株式会社みんなのウェディング設立、代表取締役就任。2014年3月25日東証マザーズ上場。
<p>第2回 6月19日 (木) 13:00 ～ 15:30</p>	<p>投資戦略/デューデリジェンス概論</p>	<p>松田 一敬 (合同会社SARR 代表社員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 慶應義塾大学経済学部卒。山一証券㈱入社。その後国内初の地域密着型VCの北海道ベンチャーキャピタル㈱を設立。 ➤ 2000年に札幌 Bizcafe を設立、サッポロバレーのITベンチャーを支援。10社以上の大学発ベンチャーに投資・経営に参画する等、この分野における我が国の草分け。 ➤ 2011年、京都に合同会社SARRを設立代表執行社員に就任。研究シーズの事業化、メンタリング、起業家育成を行う。 ➤ INSEAD・MBA、小樽商科大学商学修士、北海道大学大学院にて博士(医学)取得。NEDO、JST、SCOPE等にて評価委員、立命館大学院等で非常勤講師。
<p>第2回 6月19日 (木) 15:45 ～ 17:15</p>	<p>新興企業における会計不正の事例分析</p>	<p>津村 美昭 (有限監査法人トーマツ シニアマネージャー)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 1996年に監査法人トーマツ(現有限責任監査法人トーマツ)に入所後、新興市場の上場企業監査、IPO業務を中心にベンチャー支援等に従事。主としてソフトウェア・ITなどのサービス業、不動産・建設業、エネルギー事業、製菓業を担当。 ➤ 2006年にみずほ銀行に外向し、中堅企業向けのソリューション提案に従事。 ➤ 2007年に帰任後、従前からの株式公開支援業務に携わる他、IPO営業に注力し現在に至る。 ➤ 大手証券会社への出向経験有
<p>第3回 6月20日 (金) 9:00 ～ 10:30</p>	<p>デューデリジェンス実践編(テクノロジー)</p>	<p>河村 修一郎 (株)環境エネルギー投資 代表取締役社長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 1989年日本興業銀行入行、国際資金部にて外債の自己勘定投資業務を経て、1996年から産業調査部において電力・エネルギー業界担当アナリスト業務に従事。業界動向にかかる調査・分析を行うほか、通産大臣の諮問機関(電気事業審議会等)の委員スタッフとして、電力規制改革案を提言し、制度設計に参画。 ➤ 2000年より興銀証券(現みずほ証券)にて環境・エネルギー関連企業向けコーポレート・ファイナンス業務に従事。 ➤ 2003年には、米国コンサルティング会社 Strategic Decisions Group と共同で日

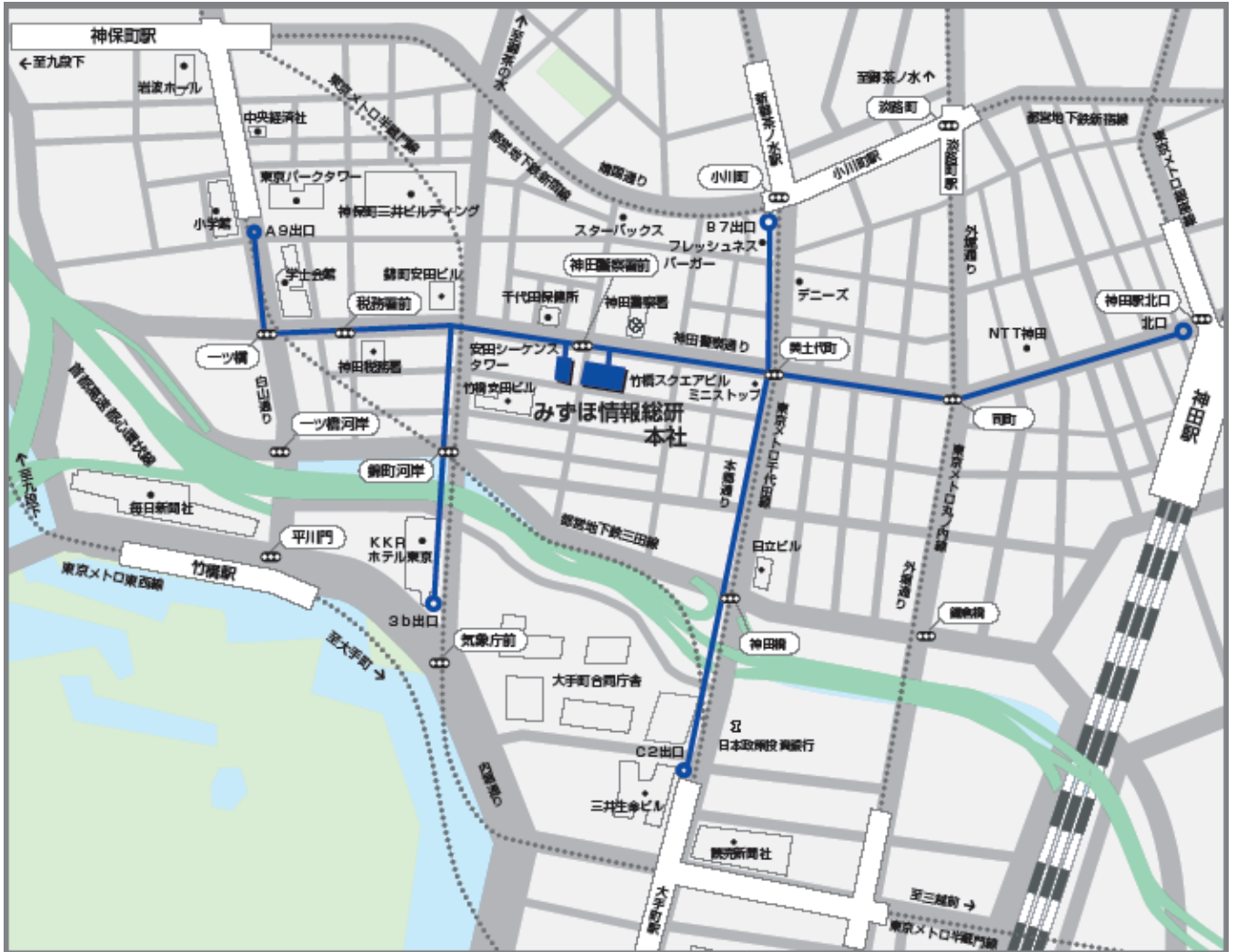
			<p>本初のエネルギー産業特化型のコンサルティング会社(株) インダストリアル・ディシジョンズを設立、同社代表取締役社長に就任</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 2006年 日本初の環境エネルギー特化型ファンド運用会社、(株)環境エネルギー投資(旧日本エネルギー投資)を設立し、代表取締役社長に就任。以降、環境エネルギー分野への投資活動に従事。 ➤ 東京大学法学部卒、米国 Princeton 大学 Woodrow Wilson School, MPA
<p>第3回 6月20日 (金) 10:40 ～ 12:10</p>	<p>デューデリジェンス実践編(サービス)</p>	<p>菅井 善朗 (三菱UFJキャピタル(株)投資営業部長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 1985年 三菱銀行(現三菱東京UFJ銀行)入行。 ➤ 名古屋駅前、心齋橋、自由が丘の営業店で融資外為業務に従事。 ➤ 1995年 ダイヤモンドキャピタル(現三菱UFJキャピタル) 出向。約4年半、ベンチャー投資に従事。 ➤ 2000年 銀行法人部、営業開発部でベンチャー企業支援業務に従事。 ➤ 2007年 銀行融資部で、IPO志向の未上場企業向け政策株式投資審査を担当。 ➤ 2010年 三菱UFJキャピタル。現在、投資営業部長。 ➤ 名古屋大学経済学部卒業。
<p>第4回 6月20日 (金) 13:30 ～ 17:00</p>	<p>ディールストラクチャー</p>	<p>後藤 勝也 (AZX Professionals Group CEO)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 1993年 司法試験合格 1994年 東京大学法学部卒業 アンダーセン・コンサルティング(現、アクセンチュア)入社(経営戦略部門) 1996年 司法研修所入所 1998年 長島・大野法律事務所(現、長島・大野・常松法律事務所)入所 2001年 AZX Professionals Group 創設。 ➤ 弁護士としてベンチャー企業及びベンチャーキャピタルへの法務アドバイザー業務、ファイナンス及びM&Aのスキーム構築、証券会社のIPOにかかる法務DD等、ベンチャー企業を中心にリーガルサービスを提供。
<p>第5回 6月21日 (土) 9:00 ～ 12:00</p>	<p>ベンチャー企業の価値評価手法</p>	<p>安永 謙 ((株)産業革新機構マネージングディレクター)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 1990年日商岩井入社。情報産業本部にて、携帯電話事業者・地域通信事業者や米テクノロジーベンチャー企業に総額\$500mil以上の投融資事業を実行。 ➤ 1999年 アメリカにてIT系アーリーステージ投資を行うアントレピアベンチャーズを共同創業。NY及びシリコンバレーにて9年間ベンチャー投資に携わった後、2007年に帰国。 ➤ 2008年アントレピア株式会社の代表取締役社長に就任。 ➤ 2010年日本ベンチャーキャピタル協会理事就任。 ➤ 2013年産業革新機構 マネージングディレクター就任。 ➤ 早稲田大学第一文学部心理学専修卒、ニューヨーク・Pace大学MBA
<p>第6回</p>	<p>付加価値サービス(テクノロジー)</p>	<p>鈴木 智也 (リード・キャピタル・マネージメント(株)パートナー)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 2000年 NTT東日本入社 ➤ 2001年 起業、取締役就任。富裕層向けコンシェルジュサービス事業を手がける。その傍ら、大手17社の事業創出コンソーシアムに参画し、様々な事業シーズ開発にも従事。

<p>第6回 6月21日 (土) 13:30 ～ 15:30</p>			<ul style="list-style-type: none"> ➤ 2004年 株式会社エムアウトに入社。ペット保険最大手への経営コンサルおよびフード EC 事業の立ち上げと運営など社内外の新規事業育成業務に従事。 ➤ 2007年 アントキャピタルに入社、同時にリード・キャピタルへ出向。 ➤ 2012年 リード・キャピタルに転籍、パートナー就任。 ➤ 慶應義塾大学法学部法律学科卒。 ➤ 現在、Locondo、Sumally、waja、Cerevoの社外取締役を兼務、上場実績として、オルトプラス、イーブックイニシアティブジャパンがある。
<p>第6回 6月21日 (土) 15:45 ～ 17:45</p>	<p>付加価値サービス (サービス)</p>	<p>田島 聡一 (株)サイバーエージェント・ベンチャーズ 代表取締役社長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 都市銀行にて約8年間、中小企業融資・大企業向け融資やシンジケート・債権流動化等、さまざまな企業の資金調達業務に携わる。 ➤ 2005年1月、サイバーエージェントに入社し、ネット金融メディアの事業立上げに参画 ➤ 2005年7月よりベンチャーキャピタル事業に従事。ウノウ、インデックスデジタル(現シナジーマーケティング)、フルスピード、クルーズ、ベクトル、トレンドーズなどのIPO、バイアウトを実現。 ➤ 現在はクラウドワークスやコインイー、Sansan など十数社への投資を手掛けると同時に、国内外全投資案件の投資判断に関わっている。大阪大学工学部卒。
<p>第7回 6月22日 (日) 9:00 ～ 11:00</p>	<p>投資回収 (M&A)</p>	<p>荒井 邦彦 (株)ストライク 代表取締役社長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 1993年 太田昭和監査法人(現新日本監査法人)入社。財務デューデリジェンス、株式公開の支援などの業務を経験。 ➤ 1998年 (株)ストライク設立、現在に至る。 ➤ 公認会計士・税理士 ➤ 一橋大学商学部卒 ➤ 主な著書に『企業法務戦略』(中央経済社)、『新株予約権と種類株式の実務』(第一法規)、『ケースでわかる株式評価の実務』(中央経済社)、『創業者のかしこい選択 M&A』(イカロス出版)、『できる社長は押さえている!会社の値段』(翔泳社)、その他執筆多数
<p>第7回 6月22日 (日) 11:15 ～ 13:15</p>	<p>投資回収 (IPO)</p>	<p>仮屋 蘭 聡一 (株)グロービス・キャピタル・パートナーズ マネージング・パートナー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 株式会社三和総合研究所でのコンサルティング、株式会社グロービスのベンチャーキャピタル事業設立を経て、現在グロービス・キャピタル・パートナーズにてマネージング・パートナーを務める。 ➤ 慶應義塾大学法学部卒、米国ピッツバーグ経営大学院修士課程修了(MBA)。 ➤ デジタルメディア、ITサービス、ソフトウェア関連の投資を担当。 ➤ 著書:『機関投資家のためのプライベート・エクイティ』(きんざい)、『ケースで学ぶ起業戦略』(日経BP社)、『MBAビジネスプラン』(ダイヤモンド社)、『ベンチャーキャピタリストが語る起業家への提言』(税務研究会)など。

9. 講座実施会場

ベーシック研修、本研修共に、みずほ情報総研株式会社安田シーケンスビル2階(東京都千代田区神田錦町3-1)にて実施致します。詳細については、下記地図をご参照下さい。

【研修講座実施会場】



以上

「JVCA ベンチャーキャピタリスト育成事業」
本研修講座 申込用紙

本申込用紙は、各参加者自身が記入し、内容に齟齬が無いことを確認の上、貴社の申込手続き取りまとめ責任者の方にご提出ください。取りまとめ責任者の方におかれましては、5月24日(金)まで(必着)に、下記宛先までご返送願います。(E-mail、FAXでも可)

なお、本申込用紙への記載事項については、本研修講座の円滑な運営を図るために活用するものであり、同目的外で使用することは一切ございません(記載事項に含まれる個人情報については、ご本人の同意がある場合を除き、第三者に情報提供することはありません)。

【申込用紙送付先】 一般社団法人 日本ベンチャーキャピタル協会 企画部
〒169-0074 東京都新宿区北新宿 2-21-1 新宿フロントタワー4F
TEL:03-5937-0300 FAX:03-5937-0301
E-mail: jimukyoku@jvca.jp

■参加者の基本情報:

注記のない限り、全ての項目を記入、又は、該当する選択肢の□に **×** を付けてください。

氏名	フリガナ (氏)	(名)	性別	<input type="checkbox"/> 男性	<input type="checkbox"/> 女性
	E-mail			生年月日	西暦
勤務先	(企業名)				
	(部署名)		(役職名)		
	(住所) 〒				
	(電話番号)		(ファクシミリ)		
教材の送付希望先		<input type="checkbox"/> 上記勤務先への送付を希望 <input type="checkbox"/> その他の住所への送付を希望			
教材等の送付先情報 【勤務先以外の住所への送付を希望する方のみ】		(住所) 〒			
		(電話番号) (ファクシミリ)			
ベンチャーキャピタリストとしての投資業務の実務経験年数		年 ヶ月			
特記事項					

■講座運営に関わる上記基本情報の第三者提供についての承認:

講座運営は、育成プログラムの共同開発者であり、当会の賛助会員でもある みずほ情報総研株式会社 にその一部を委託しております。一方、個人情報保護法の施行により、教材送付や課題の連絡、講義中に開催を予定しているグループワークのためのグループ編成、出欠確認、その他の諸連絡等、円滑な講座運営を目的とした みずほ情報総研株式会社 への上記基本情報の提供については、ご本人の同意が必要となっております。つきましては、趣旨をご理解の上、同意いただける場合は、下記の□に**×**(承認印に代替するチェック)を付けてください。

円滑な講座運営を目的とした「みずほ情報総研(株)」への上記基本情報の提供について同意します。

■今後 JVCA や運営会社から研修案内等を直接上記メールアドレス等に送付することについて

希望する 希望しない 左記の□に **×** (承認印に代替するチェック) を付けてください。

「JVCA ベンチャーキャピタリスト育成事業」
 ベーシック研修（半日）講座 申込用紙

本申込用紙は、各参加者自身が記入し、内容に齟齬が無いことを確認の上、貴社の申込手続き取りまとめ責任者の方にご提出ください。取りまとめ責任者の方におかれましては、5月24日(金)まで(必着)に、下記宛先までご返送願います。(E-mail、FAXでも可)

なお、本申込用紙への記載事項については、本研修講座の円滑な運営を図るために活用するものであり、同目的外で使用することは一切ございません(記載事項に含まれる個人情報については、ご本人の同意がある場合を除き、第三者に情報提供することはありません)。

【申込用紙送付先】 一般社団法人 日本ベンチャーキャピタル協会 企画部
 〒169-0074 東京都新宿区北新宿 2-21-1 新宿フロントタワー4F
 TEL:03-5937-0300 FAX:03-5937-0301
 E-mail: jimukyoku@jvca.jp

■参加者の基本情報:

注記のない限り、全ての項目を記入、又は、該当する選択肢の□に ×を付けてください。

氏名	フリガナ	(名)	性別	□男性 □女性	
	(氏)				
E-mail		生年月日	西暦	年	月 日
勤務先	(企業名)				
	(部署名)	(役職名)			
	(住所) 〒				
	(電話番号)	(ファクシミリ)			
教材の送付希望先	□上記勤務先への送付を希望		□その他の住所への送付を希望		
教材等の送付先情報 【勤務先以外の住所への送付を希望する方のみ】	(住所) 〒				
	(電話番号)	(ファクシミリ)			
ベンチャーキャピタリストとしての投資業務の実務経験年数	年		ヶ月		
特記事項					

■講座運営に関わる上記基本情報の第三者提供についての承認:

講座運営は、育成プログラムの共同開発者であり、当会の賛助会員でもある みずほ情報総研株式会社 にその一部を委託しております。一方、個人情報保護法の施行により、教材送付や課題の連絡、講義中に開催を予定しているグループワークのためのグループ編成、出欠確認、その他の諸連絡等、円滑な講座運営を目的とした みずほ情報総研株式会社 への上記基本情報の提供については、ご本人の同意が必要となっております。つきましては、趣旨をご理解の上、同意いただける場合は、下記の□に ×(承認印に代替するチェック)を付けてください。

円滑な講座運営を目的とした「みずほ情報総研(株)」への上記基本情報の提供について同意します。

■今後 JVCA や運営会社から研修案内等を直接上記メールアドレス等に送付することについて

希望する 希望しない 左記の□に ×(承認印に代替するチェック)を付けてください。